

環境省「カーボン・オフセットの取組に係る  
第三者認定施行事業」における  
(株)ルミネの取り組み



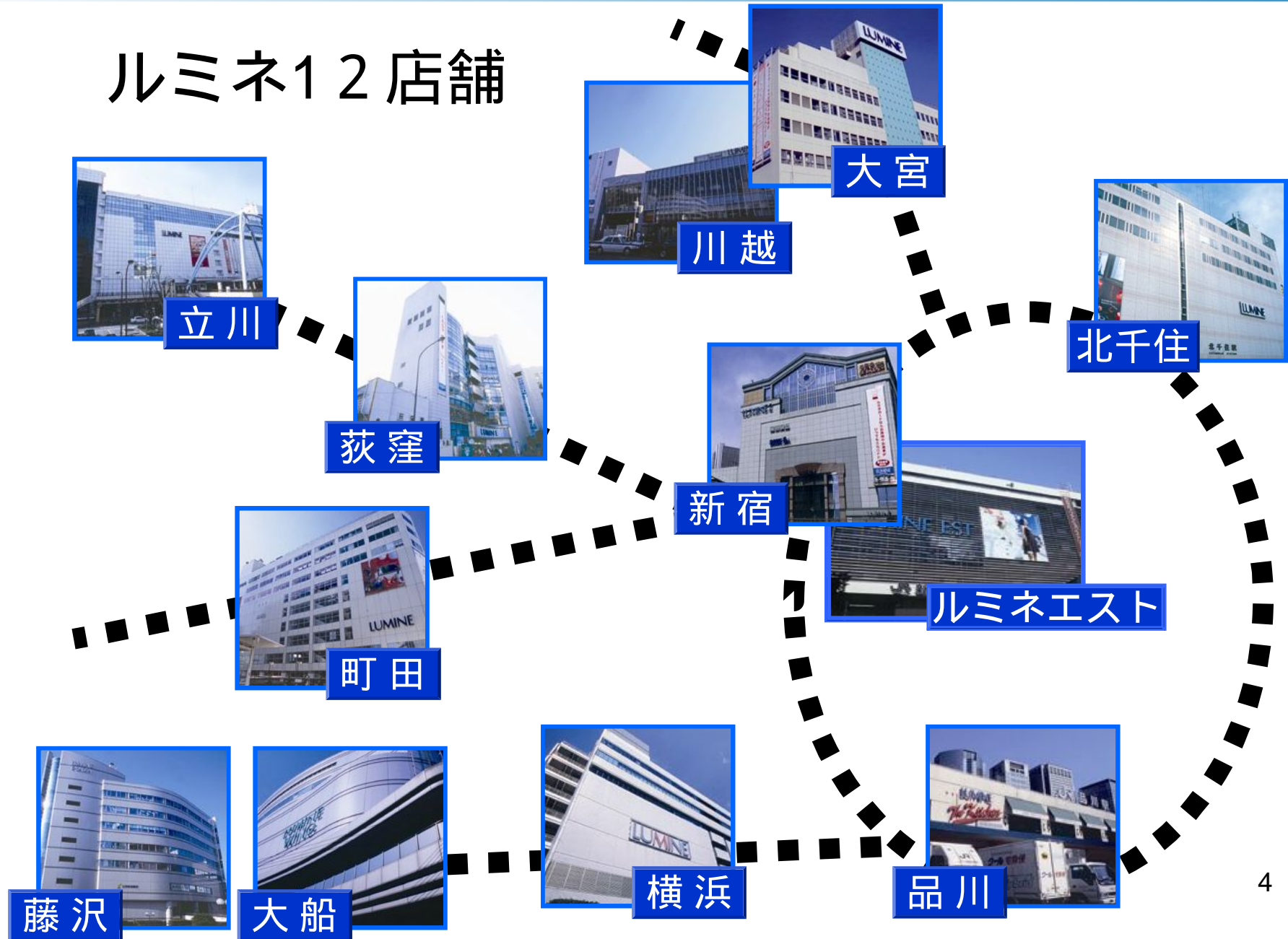
## ルミネの概要



名称	株式会社ルミネ
所在地	〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目2番2号 JR東日本本社ビル10階 TEL03-5334-0550(代表)
設立	昭和41年5月21日(合併期日:平成3年4月1日 立川は平成4年4月1日 荻窪は平成15年4月1日 ルミネエストは平成18年4月1日)
資本金	23億7,520万円(平成19年度)
売上高	2,620億円(平成19年度)
主要株主	東日本旅客鉄道株式会社91.84% その他(主要都市銀行他)8.16%
従業員数	336名(平成20年4月1日現在)
主な事業 内容	ショッピングセンター事業の管理及び運営



# ルミネ12店舗



# これまでの環境への取り組み

## ルミネの環境活動

CO<sub>2</sub> 排出量取引  
(環境省自主参加型排出量取引に参加)

高効率照明の採用  
(LED等)



屋上緑化



「ISO14001」の認証登録

バイオ発電 (生ゴミのメタン化)

BEMSの導入  
ESCO事業の導入



その他 (生ゴミの資源化、発砲スチロールの再利用)

# カーボン・オフセットへの試み

## 更に一步進んだエコ活動へ！

地球温暖化防止に対する問題意識の高まり

日常レベルの環境活動（ゴミ分別、レジ袋不用運動等）は当たり前前の時代

更に一步進めるには・・・



個人や企業の自主的な意志

「地球のために、より積極的に何かをしたい」  
「信頼性の高いシステムに意思と資金を託したい」



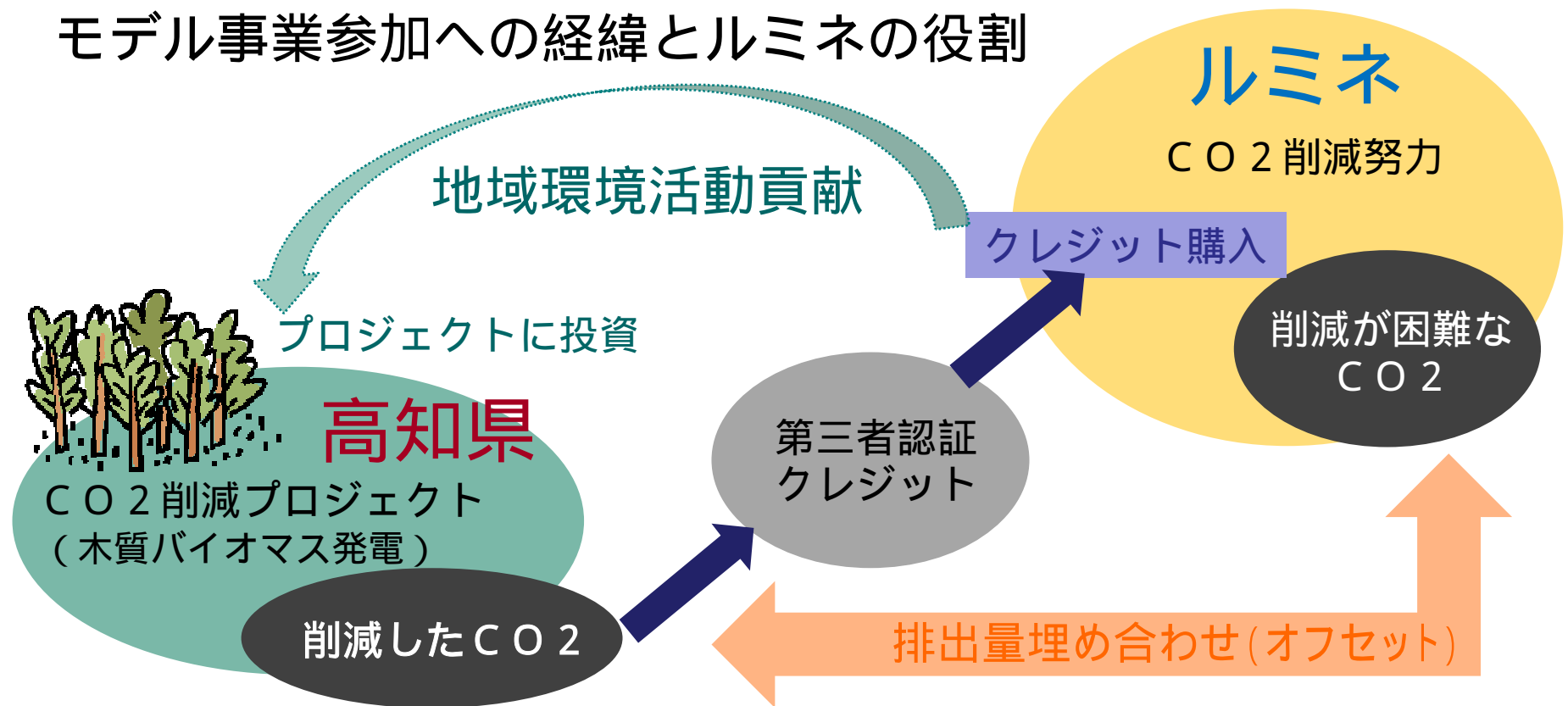
身近に「受け皿」となる、信頼性の高いシステムがない。

高知・ルミネが一体となって、  
信頼性・使用しやすいカーボン・オフセットモデル事業を実施

～ 潜在する大勢の善意の意志や資金（浄財）の受け皿を目指す～



## モデル事業参加への経緯とルミネの役割



これまでのルミネ

- ・ハード的な環境活動が中心
- ・会社単位での取り組み

参加

- 挑戦
- ・ソフト的な活動への
  - ・社員(個人)レベルの取り組み、
- 意識改革

## オフセット対象について

カーボン・オフセットの考え方  
現状の排出量を認識

削減努力

削減が困難な部分の評価・  
オフセット

社員の参加意識向上のため  
「通勤」に注目

社員個人の通勤ルート

バスや電車の利用により  
排出されるCO<sub>2</sub>量を認識

削減ルートを検討し  
「エコプラン」  
として宣言

実施状況の記録

達成不可能なCO<sub>2</sub>量を  
算出・評価・オフセット

通常ルートの排出CO<sub>2</sub>量 ×

達成不可能日数

## 削減ルート(エコプラン)の考え方

CO<sub>2</sub> 排出量 = CO<sub>2</sub> 排出係数 ( 交通手段の会社別 ) × 乗車距離 ) の総合計

\* エコとなる通勤ルートとは？

- ・ 交通機関の乗車区間を短縮 ( 一駅分歩く等 )
- ・ よりエコとなる路線の選択 ( 自動車より電車を利用するなど )
- ・ エレベーター・エスカレーターを使用しない

アンケートを社員に配布、  
個人で検討してもらう

エコルート検討表

出発地	到着・経由地(駅・バス亭等)	到着・経由地(駅・バス亭等)	到着・経由地(駅・バス亭等)
自宅			
交通手段 [ ]	交通手段 [ ]	交通手段 [ ]	交通手段 [ ]

実行チェック表

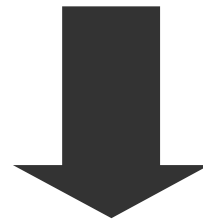
	行き	帰り
1日		×
2日	×	
3日		
4日		×
5日		
6日		

## エコルート検討とCO<sub>2</sub>排出係数のあり方

～ CO<sub>2</sub> 排出係数 ～

現状：会社別の目安値は存在するため、

おおよそのCO<sub>2</sub>排出量の算定は可能だが...



### 今後の課題

厳密なエコルート検討のためには、

同一会社内でも、路線別のCO<sub>2</sub>排出係数が必要

## その他のオフセット対象項目

外壁サイン・屋外照明のライトダウン

消灯後



冷房は28度設定

ゴミの再資源化

ノ - 残業

フロア移動は階段利用

## まとめ

「全ての生物に均しく優しい地球、しかし絶妙なその包容力は無限では無かった」

～過去の人為的原因による自然破壊に学ぶ...間に合ううちに～

ニシン漁が乱獲によって激減し、立ち行かなくなってしまった原因



絶滅危惧種の魚類、動物、植物等

有限資源のニシンを自然界で復活させるためには、明らかに手遅れに。

我々人類が「地球」の大自然が織りなすコントロールシステムに

あまりにも無知・無頓着だったが故に招いてしまった温暖化現象

有限の化石燃料の大量消費



～砂漠化、海面上昇、動植物の絶滅危機、

異常気象の増加、熱帯性感染症の増加～

美しい地球環境を守り、地球上の全ての生物に生きることの素晴らしさ、希望を

つなぎ止めることができるのは、我々の世代以外には果せない。



善意・資金の活用

LUMINE